

表15 2002年度 平城宮跡発掘調査部 発掘調査一覧

調査次数	調査地区	遺跡	調査期間	面積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
326次	6AAX-J	第二次朝集殿院南門	2002.1.8~4.12	1020m ²	奈良市佐紀町	平澤麻衣子	学術調査	134
337次	6ABR-E	第一次大極殿院西樓	2002.4.1~8.29	1278m ²	奈良市佐紀町	清野孝之	宮跡整備	140
	6ABS-D		2001.10.15~2002.2.1			長尾充		
341次	6BSD-E	西大寺法寿院 右京一条三坊六坪	2002.1.17~2.6	62.3m ²	奈良市西大寺芝町	深沢芳樹	庫裡改築	170
342次	6BSD-E·D	西大寺四王堂	2002.2.15~3.5	16.5m ²	奈良市西大寺芝町	深沢芳樹	防災工事	171
343次	6AFJ-H	左京三条一坊九坪	2002.2.26~3.5	18m ²	奈良市二条大路南	高橋克壽	住宅建設	174
344次	6BSR-P	西隆寺旧境内	2002.5.10~5.27	120m ²	奈良市西大寺東町	金田明大	駐車場建設	175
345次	6AFF-E	左京二条二坊十四坪	2002.6.17~6.25	56m ²	奈良市法華寺町	豊島直博	住宅建設	179
346次	6AAH-D	第二次朝集殿院東	2002.9.9~2003.3.26	275m ²	奈良市佐紀町	馬場基	学術調査	132
347次	6BKF-K	興福寺中金堂院回廊	2002.7.1~11.1	981m ²	奈良市登大路町	今井晃樹	史跡整備	154
348次	6AGF-Q	右京三条一坊（西一坊坊間大路）	2002.9.2~9.5	6m ²	奈良市二条大路南	神野恵	住宅建設	132
349次	6AFJ-F	左京三条一坊十五坪	2002.9.9~9.12	12m ²	奈良市二条大路南	神野恵	店舗増築	174
350次	6BKF-O·P	興福寺一乘院跡	2002.10.2~12.27	900m ²	奈良市登大路町	高橋克壽	庁舎建設	162
351次	6BKF-O	興福寺一乘院跡（試掘）	2002.9.25~9.26	120m ²	奈良市登大路町	井上和人	庁舎建設	162
352次	6BGN-C	旧大乘院庭園	2003.1.7~3.12	267.5m ²	奈良市御所馬場町	次山淳	史跡整備	168
353次	6AGF-F	右京三条一坊七坪	2003.1.7~1.17	122m ²	奈良市二条大路南	馬場基	店舗建設	132
354次	6BFK-H	法華寺旧境内	2003.2.24~2.28	24m ²	奈良市法華寺町	金井健	住宅建設	132

表16 2002年度 平城宮跡発掘調査部 小規模調査等の概要

調査次数	遺跡	調査の概要
346次	第二次朝集殿院東	学術調査。調査区は南北24×東西12mと、その北端東側3.5m分を東に1.5m拡張した。調査面積は275m ² 。南北掘立柱列2条、南北溝4条、東西溝1条などを検出した。
348次	右京三条一坊（西一坊坊間大路）	個人住宅建設に伴う事前調査。東西3m、南北2mの調査区を設定した。一坊坊間大路上に想定される位置。標高64.50m付近で青灰色粘質土の地山を検出。地山は東に沈みこむ。とくに調査区西半分は、沼状の地盤でゆるく、現代の廃材が深く沈み込んでいる。検出遺構、出土遺物ともなし。
353次	右京三条一坊七坪	店舗建設に伴う事前調査。坪中心側に6×11mの南北トレンチ（東トレンチ）、坪西端付近に10×5mの東西トレンチ（西トレンチ）の2ヶ所を設定した。調査面積は計122m ² 。H=64.4~64.5m（調査開始時地表面から0.8~1.3m程）で遺構を検出した。奈良時代の南北溝1条（西トレンチ）などを検出した。
354次	法華寺旧境内	共同住宅建設に伴う事前調査。東西3m、南北8mの調査区を設定。現代の埋戻土を除去後、近世の整地土層で遺構を確認した。調査区の北半は地山が高く（現地表下約40cm）、南半に近世の整地土が層状に残存する。検出した主な遺構は東西の石列とL字形の瓦礫列で、土壌の痕跡と推定した。出土遺物は、中世・近世の陶磁器や土器、瓦などである。断面調査により、整地土層の下に溝状の堆積土を確認、ここから古代・中世の瓦が出土した。

表17 2002年度 平城宮跡発掘調査部 現場班編成 ※総担当者

考古第一	考古第二	考古第三	遺構	史料
春 夏	豊島直博 井上和人	金田明大 神野恵	清野孝之※ 今井晃樹※	中島義晴 長尾充
秋	深沢芳樹	高橋克壽※	山崎信二	山本紀子（2002.4.1採用）
冬	次山淳※	川越俊一	林正憲（2002.10.1採用）	平澤麻衣子 金井健
総括：部長 金子裕之				写真担当：牛嶋茂、中村一郎

第337次調査は、2001年度秋班からの継続調査である。2001年度秋の現場班編成は以下のとおり。井上和人、神野恵※、清野孝之、長尾充、市大樹。